

2026年5月27日

各 位

会 社 名 株式会社トレジャー・ファクトリー
代 表 者 名 代表取締役社長 野坂 英吾
(コード番号 3093 東証プライム)
問 合 せ 先 執行役員経営企画室長 金坂 剛嗣
(TEL. 03-3880-8822)

取締役会の実効性評価の結果の概要に関するお知らせ

当社は、取締役会全体の実効性を高め、機能強化を図ることを目的として、2026年2月期における取締役会の実効性に関する評価を行いましたので、その概要を下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 評価の方法

評価対象期間に在任していた取締役5名及び監査役3名を対象に、取締役会事務局によるアンケートを実施しました。アンケートは、設問ごとの4段階評価及び自由記述方式により実施しており、主な項目は次のとおりです。

- 取締役会の規模・構成
- 取締役会の運営
- 取締役会での議論
- 取締役・監査役に対する支援体制
- その他自由意見

2. 結果の概要

アンケートの集計結果及び自由意見をもとに、2026年5月開催の取締役会において、取締役会全体の実効性について分析・評価し、今後の課題及び取組みについて審議いたしました。

その結果、取締役会の開催頻度、年間スケジュール、審議時間、リスクテイクを支える雰囲気、利益相反管理及び社外役員を含む取締役・監査役への情報提供体制等については、概ね適切に運営されていることを確認しました。また、取締役会全体として、企業価値向上に資する意思決定及び監督機能を実効的に果たしているものと評価しました。

一方で、「取締役会に提出される資料を事前に検討する時間の確保」、「中長期的な企業戦略及びサステナビリティに関する議論の充実」、「最高経営者等の後継者計画の監督」、並びに「取締役会の構成・人数」については、さらなる改善余地があるものと認識しております。

3. 改善の取組み

今回の評価結果を踏まえ、当社は、取締役会の実効性をさらに高めるため、次の取組みを進めてまいります。

まず、取締役会資料については、月次決算・経営分析資料の提供時期の前倒しを継続するとともに、連結子会社を含めた資料提出体制の見直しや、付議・報告事項の整理を進め、取締役・監査役が事前に検討する時間を十分に確保できるよう努めてまいります。

また、中長期的な企業戦略及びサステナビリティに関しては、社内で検討を進めている中期ロードマップや、サステナビリティ推進委員会の活動状況を取締役に共有し、取締役会における議論の充実を図ってまいります。

最高経営者等の後継者計画については、執行役員制度の導入を含む後継者育成に向けた制度整備を進めるとともに、任意の諮問機関である指名・報酬委員会での審議状況を取締役に定期的に報告し、監督機能の強化に努めてまいります。

さらに、取締役会の構成・人数については、事業規模の拡大、海外展開、新規事業及び管理機能の高度化等を踏まえ、必要なスキル・経験及び多様性の観点から、引き続き検討してまいります。

以 上